

「行きたい学校づくり」推進事業計画書（報告書）

学校名	(学校番号 1 9) 県立沼津西高等学校			沼駿地区 8 校 (御殿場・御殿場南・小山・裾野・沼津東・沼津城北・沼津工業・沼津商業)						テーマ	探究学習推進 (探究学習推進によって各校のスクール・ミッション、スクール・ポリシーを実現する)							
研究 事業名	県内全地区における探究コンソーシアムの構築						ねらい		・探究的な学習手法の沼駿地区全校での実践による主体的に学ぶ力の育成 ・探究に係る地域資源の有効活用 ・探究学習によって地域貢献できる人材を育成し、地域活性化に寄与 大学入試（総合型選抜等）への対応									
本事業を 経て目指 す姿	（１年目）【研究】 ・オンリーワン・ハイスクールの成果である探究による主体的な学びの深化、他校との連携の波及を行う。 ・連携校と研究協議会を発足し、沼駿コンソーシアムを連携校と構築するための準備を行う。 ・コンソーシアムの構築に向けて、先進的なコンソーシアムの拠点校、探究の先進校を視察する。 ・研究協議会では各校の担当者と管理職が各校の探究の現状について情報共有し、大学の研究者等の講演会で課題の共有を図る。 本校の特色化のため、普通科・芸術科が探究を協働し、相互に影響を及ぼす学科横断的な取組を推進する。				（２年目）【試行】 ・本校は拠点校として、沼駿地区県立高等学校コンソーシアムを構築するための具体的な体制づくりを行う。 ・コンソーシアムの２つグループでそれぞれ生徒によるポスターセッションによる合同発表会を開催する。 ・研究協議会を開催し、パネルディスカッションで探究に係る地域資源の有効活用の方法を検討する。 ・大学入試（総合型選抜等）への対応のために、各校の進路担当も研究協議会に参加する。 ・本校では、芸術科が行っている地域貢献（演奏会・展示会等）の経験を共有する方法を検討する。 本校の連携先の拡充と支援体制の確立を行う。						（３年目）【成果発表、まとめ】 ・コンソーシアムを通じ地域資源を有効活用した３年間の指導計画と教材の完成し、グループウェア（グループ）等でデータベース化する。 ・沼駿地区の９校がコンソーシアムの関係者も招いて合同発表会を開催する。 ・沼駿地区の各校が探究学習推進により、各校のスクール・ミッションとスクール・ポリシーを具現化する。 ・大学入試（総合型選抜等）への対応を各校で共有する。 本校の普通科と芸術科との学科横断的な取組により地域貢献できる人材を育成することで、行きたい学校づくりを推進する。							
				初期値（令和６年度当初）		令和８年度末目標値			令和６年度末実績（評価）			令和７年度末実績（評価）			令和８年度末実績（評価）			
共通指標	①授業内容に興味があって学校を選択した生徒の割合（％）			7 3 . 4			8 5 . 0											
	②（授業以外の）指導内容に興味があって学校を選択した生徒の割合（％）			9 2 . 6			9 3 . 0											
	③志願倍率（志願者数、募集定員数）			芸術科 0 . 9 8 普通科 1 . 1 3			芸術科 1 . 0 5 普通科 1 . 1 5											
個別の 成果指標	自分の探究活動に関して、視点や調査の手段、途中経過や解決に向けた成果等を発表できる生徒の割合（％）			1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
				5 6 . 2	6 3 . 1		6 5 . 0	7 5 . 0										
令和６年度要求予算額（「行きたい学校づくり」推進事業分）				1, 200, 000 円					令和６年度決算額				1, 070, 000 円					
令和７年度要求予算額（「行きたい学校づくり」推進事業分）				1, 200, 000 円					令和７年度決算額				円					
令和８年度要求予算額（「行きたい学校づくり」推進事業分）				1, 200, 000 円					令和８年度決算額				円					

※予算、決算及び次ページ以降は、提出時期に応じて加筆していく（令和 6 年度当初の提出では、黄色の部分に記入する。）。

<令和 6 年度実施計画（報告）>

番号	取組（計画）	取組の説明（計画）	成果（報告）	分析・課題（報告）
案 1	コンソーシアムの研究	コンソーシアムの構築に詳しい講師を招き、探究学習推進のためのコンソーシアムの構築に向けて研究のための講演会を開催し、参考にする。	コンソーシアム構築についての助言をアドバイザーに依頼をしたが、アドバイザーが体調不良だったため講演会ではなく、インタビューの内容についての伝達を探究研究協議会の中で実施した。	アドバイザーには、この事業及び本校の状況を理解していただいた上で、非常に有益な助言をいただくことができた。また、参考となるコンソーシアムを紹介していただき、訪問することができた。
案 2	パネルディスカッション	コンソーシアムの 2 つのグループ内の 5 校で探究担当者によるパネルディスカッションを行い、各校の課題の共有を図るとともに支援策を検討する。	第 2 回の探究研究協議会で、9 校合同で担当者から各校の取組や課題について報告を受けた。担当する管理職でも情報共有を行った。	沼津地区と北駿地区との 2 つに分けて探究研究協議会を来年度は開催したい。探究研究協議会は年間に 3 回実施し、情報共有を進めることが課題である。
案 3	探究学習に関する講演会	研究協議会のメンバーで探究学習における地域との連携や充実に向けたて大学等の講師を招き、講演会を開催する。	第 1 回の探究研究協議会で、アドバイザーに講演をしていただいた。各校からも好評であり、探究学習や高大連携について学習する機会となった。	大学関係者や先進地域から探究学習について引き続き学んでいくことが必要であるとする。より質の高い探究学習を求めていきたい。
案 4	生徒成果発表会	11 月に本校のポスターセッションによる生徒成果発表会を実施する。その際に本校の連携先や連携校に参観を依頼する。	本校の 2 年生が行った探究学習の発表会はポスターセッションで行うことで、連携校からも参加をすることができた。本校の取組を評価していただいた。	本校の生徒成果発表会に他校も合同で実施できるように来年度は調整をしていきたい。また会場や時期についても検討が必要だと考える。
案 5	先進校訪問	先進的なコンソーシアムの拠点校、探究の先進校を訪問し、視察する。	アドバイザーからの紹介で 2 つの先進的な地域を訪問し、視察することができた。沼駿地区のコンソーシアム構築を考える上で大変に参考になった。	2 つの先進的な地域の取組を踏まえ、沼駿地区でどのようなコンソーシアムが構築できるかを具体的に計画を立てて進めていく。
案 6	探究学習による主体的に学ぶ力の育成の研究	本校の探究担当者及び管理職でプロジェクトチームを形成し、主体的に学ぶ力の育成や大学入試（総合型選抜等）への対応について検討する。	県の総合教育センターの学校等支援研修を活用し、本校の探究室及び各学年の探究担当者で研修を行った。また大学入試（総合型選抜等）への対応についての情報収集を行った。	学びの変革に必要な主体的に学ぶ力の育成及び大学入試への対応については、校内のミドルリーダーの育成を行い、ミドルアップアンドダウンマネジメントで校内で研究及び実践を推進していく。
案 7	沼駿地区県立高等学校コンソーシアムの構築準備	連携校や連携先とのコンソーシアムの構築に向けて必要なことを本校内及び研究協議会で検討し、具体的な案を作成する。	行政や民間を含んだコンソーシアムを構築し、沼駿地区の探究学習推進のための会議を開催する案については作成することができた。	次年度は高校教育課とも連携し、このコンソーシアムを構築し、会議を開催できるように働きかけをしていくことが課題である。

<令和 7 年度実施計画（報告）>

番号	取組（計画）	取組の説明（計画）	成果（報告）	分析・課題（報告）
1	コンソーシアム構築のための取組	別紙 1 の「沼駿地区探究コンソーシアム案」に基づき、その課題の解決策を実行する。また別紙 2 にある「コンソーシアム図」の実現を図る。		
2	先進地域との連携	コンソーシアムの構築及び探究学習推進するための助言を得るために、先進地域との連携を推進する。		
3	探究研究協議会	探究研究協議会を年間に 3 回実施し、生徒成果発表会や合同で行う企画等を検討する。コンソーシアムで協議する内容についても検討する。		
4	大学入試対応	探究研究協議会等で大学入試（総合型選抜等）への対応のために各校の進路担当者も参加し、対応を協議する。		
5	校内における探究学習推進	芸術科との協働、探究学習推進室の組織や機能の充実、校内の総合的な探究のシラバス等の作成、教職員の探究学習のための資質能力の向上等を行う。		

<令和 8 年度実施計画（報告）>

番号	取組（計画）	取組の説明（計画）	成果（報告）	分析・課題（報告）
	未定			